

## ■12月の公開学習会のご案内■

どなたでもご参加いただける公開学習会を下記のとおり開催します。ぜひご参加ください。

開催日： **2023年12月14日(木)11:35~12:25**

話題提供者： **山本美奈さん(BKC 国際課職員)**

テーマ： **国際教育支援の今～ポストコロナの現場から～**

コロナ期を経て、国際教育支援の状況は大きく変化しています。国際情勢の影響や国際教育の当事者である学生実態の変化など、現場から見える「今」をお伝えし、意見交換できればと思います。

開催形態： **オンライン学習会**

主催： **立命館ピース・ネットワーク**

参加申込方法： <https://questant.jp/q/23PEACE04>

① 上記 URL もしくは QR コードから参加申込

⇒ **申込締切 12/13 (水) 正午まで**

② 13日午後 Zoom の参加 URL を送付

⇒ **申込時記載のメールアドレスに送付します**



## ■11月の公開学習会のご報告■

11月7日(火)に徳川信治さん(法学部教員)より「国際法からみたロシアのウクライナ侵攻」をテーマに報告をいただき、第3回学習会を開催し、21名の方にご参加いただきました。報告内容は以下のとおりでした。

1. ウクライナ問題に関わるプーチン大統領の「特別軍事作戦」宣言にみる国際法問題：ロシアはなぜウクライナに特別軍事作戦をしかけ、そのことは国際法上どのような問題を有しているのか。
2. ウクライナの NATO への加入希望とその見込み：NATO 諸国は消極的かつコンセンサスがなないため、ウクライナの NATO 加盟は現実的に困難。
3. NATO 脅威論・NATO 不拡大約束違反
4. まとめにかえて 情報戦の様相：
  - ・NATO 拡大問題は、歴史を振り返ると NATO による「自主的約束(政治的妥協)」の側面があり、ロシアに「有利な展開」の「手打ち」、そしてこれを NATO は反故にはしていない。
  - ・ウクライナを利用したアメリカ、イギリスとロシアの代理戦争の様相。

※立命館ピース・ネットワークは、「平和と民主主義」を教学理念とする立命館大学において、様々なテーマについて意見交換をすることを目的としたネットワーク組織です。(世話人：勝村誠(政策科学部教授、コリア研究センター長)、君島東彦(国際関係学部教授、国際平和ミュージアム館長)、小松浩(法学部教授)、佐野芳尚(経営学部事務室)、澤田博昭(生命科学部事務室)、清水郁子(教職員組合)、山崎文徳(経営学部教授、教職員組合副委員長)